

# 網島ひとプラン ニュース

第4号

2014年(平成26年)4月1日 発行

## 地域情報部会からのお知らせ

### 自治会ホームページ作成の意義

元気でふれあうまち網島」に、いよいよ4月1日から「ホームページ」の運用が始まりました。これは、「ひとプラン推進活動」がきっかけとなり、網島地区連合自治会が網島地区社会福祉協議会と共同して開発し、誕生したものです。ホームページの運用管理は、網島地区ひとプラン計画推進委員会(地域情報部会)が務めます。

何故「ホームページ」か?・・・それは、網島地区に住む皆さんが、地域のことや地域に暮らす様々な人たちのことを理解し、ささえあいが実践できるまちの実現が不可欠であることから、網島地区の幅広い世代の方々に、地域活動に関心を持っていただけるようにチラシやポスターに加えた新しい情報発信が必要と考えたからです。

地域で「福祉保健サービスが必要な人を早く見つけることや、これに的確に対応できるような仕組み」をつくることは、容易なことではありません。

どうぞ、網島地区の皆さん、地域活動への関心を高めていただき、交流の輪を一緒に広げていきませんか。まずは、ホームページを開いてみてください。



ワーキンググループでの検討会の様子

### ホームページのあらまし

網島地区連合自治会のホームページはトップページから分かり易く住民の方に有意義な、いろいろな情報が見られるように構成してあります。特に最近ではパソコン以外にもスマートフォンやタブレット端末が急速に普及して外出先でも閲覧できるように配慮しました。

#### 【トップページの構成】

- ① 連合自治会
  - ② 自治会ホームページ
  - ③ 網島地区社会福祉協議会
  - ④ ひとプラン港北
  - ⑤ 各種団体の情報
  - ⑥ 民生委員・児童委員、保護司、保健活動推進委員
- 概要・沿革・事業内容などが見られます。
- ひとプランとは、網島ひとプランの各部会(地域交流部会・ネットワーク部会、地域情報部会)の活動状況・年2回発行のひとプランニュースなどの情報を掲載

#### トップページサンプル画面



URL <http://www.tsunashima-rengo.com/>

「網島地区連合自治会」(検索)

- ⑥ 地域の活動案内  
赤ちゃん会・子育て支援相談会・離乳食教室・パパ教室・子育てサロン・子育てサークル・公園遊び
  - ⑦ 関連サイトへのリンク  
網島地区センター・網島商店街・小中学校HPなど
  - ⑧ 生活便利サイトへのリンク  
病院・バス時刻表
- 今後、情報内容をより充実して行く予定です。そのためには地域住民の方の身近な情報提供が必須となります。皆さんのご協力を期待しています。

## 自治会町内会 紹介コーナー (第二回)

今回は、網島中町自治会をご紹介します。

網島中町自治会は、設立が昭和25年4月1日と歴史が古く規模的にも大きな自治会です。現自治会長の佐藤誠三さんは7代目の会長です。

当自治会は網島地区の東に位置し、特に東口商店会と合同で行事を開催することが多いです。

(1) 世帯数・・・900 世帯

(2) 町会の班数・・・48班

\*網島中町自治会館を拠点に活動

(3) 自治会のエリア

網島東一丁目及び二丁目の一部

(4) 組織

会長、副会長 (3名)、会計 (2名)、会計監査 (2名)、理事 (18名) から構成。

①役員会理事会は毎月、月初めに1回開催。

②役員会は年2～3回開催。

(5) 活動

総務部・防犯防火部・保険衛生部・福利厚生部・交通部からなる組織で、極め細かな地域活動を行っている。

老人会で毎月1回趣味の講座開催、夏休みラジオ体操、毎年2月に防災訓練、レクレーションとして年2回バス旅行又は食事会開催、自治会館にてバーベキュー大会や餅つき大会などを行っている。



子供会ラジオ体操



バーベキュー会の模様



はなび大会



防災訓練の模様

## 網島ひとつとプラン推進事業紹介

### 地域交流部会の事業

網島東地区「ふれあいの家」交流サロン  
金子さま宅をご提供いただきました

本部会は前年度から「サロン」活動の実施を目標にし、本年度後半を試行的期間と位置づけ第1回を「ふれあいの家」と名付け、9月25日、親友会館で実施した。そして、1月29日、網島東4丁目 金子和子さん宅で午後2時より実施した。

サロン参加者は7名で、その他に網島地区自治会、社会福祉協議会、区役所、

樽町ケアセンター等から12名、体操指導員2名が出席した。

内容は

- 1 大谷会長の挨拶
  - 2 座ったままの体操
  - 3 頭の体操
  - 4 お茶を飲みながらの懇談
- のプログラムで1時間50分程であった。
- 26年度は定期的実施にむけ準備を進めたい。



## ネットワーク部会の取り組み状況

昨年11月26日(火) 連合自治会で、「災害時要援護者事業」について、具体的に取組みを進めるために、各自治会で各民生委員協議会(西と東)と、検討・話し合いを進めることが、決定されました。そのためには、新たに委嘱された各民生委員の皆さんと各自治会町内会との共通した理解が必要であることも確認され、今後それぞれに今日までの取り組みなどについて理解を深めた上で協議することになりました。今後、各自治会町会においても「災害時要援護者事業」についてどのようにこれを進めていくかが課題とされました。



健康体操の様子



脳トレの問題に  
真剣に取り組む様子

主催 「ひとつとプラン港北」 網島地区計画推進委員会 地域交流部会  
共催 網島親友会・網島東町自治会・網島中町自治会・網島東親和会  
後援 網島地区社会福祉協議会

★お問合せ 地域交流部会 責任者 座間英夫 電話 (531) 7554

※推進委員会では、今後、このサロンを地域の皆さまと一緒に、定期的に開催できることを目指しております。

# 綱島ふれあい広場～



綱島地区社会福祉協議会のコーナー

今年の綱島地区社会福祉協議会研修は、  
東京都の4施設を見学しました。

民生委員・児童委員、老人会、自治会町内会、ボランティア団体など各層から50人が参加し、本年2月18日（火）、警視庁、第一生命館、国会議事堂、江戸東京博物館など4施設を見学しました。その主な内容をご紹介します。

(1) 警視庁ふれあい広場「警視庁教室」  
130インチ・スクリーンによる警視庁の活動と警察展示室コーナーの見学

(2) 第一生命館  
マッカーサー元帥の執務室や歴史資料室など貴重な文化財の見学

(3) 国会議事堂  
当日は、衆議院本会議のため、参議院と議員会館の見学

(4) 江戸東京博物館  
写楽、歌麿、北斎、広重ら国内外より名品440点を集めた大浮世絵展を鑑賞

以上過密なスケジュールでしたが、普段は見ることのできない施設であり、参加者一同熱心に見学しました。

今回の施設見学にあたり、大谷会長から、「広い視野に立って、学ぶことの一助にしてください。」との挨拶がありました。



第一生命全景



マッカーサー執務室で説明を受ける



国会議事堂見学・集合写真



マッカーサー像  
(第一生命館)



警視庁見学・集合写真

## 綱島地区敬老祝賀会のお知らせ

今年度も、79歳以上の皆様に招待状をお送りし、綱島地区センターで会食、アトラクションなど、お楽しみいただく予定です。また、当日は、卒寿（90歳）、百寿（100歳）を迎えられた方々へ特別表彰が行われます。

日時 平成26年9月15日  
(祝・月一敬老の日)

午前11時～午後3時  
会場 綱島地区センター



昨年の祝賀会風景（700人の方が出席されました）

## 綱島地区社会福祉協議会

### 第31回定例総会ご案内

日時 5月25日（日） 10時～11時  
会場 綱島地区センター2階「和室」

#### 【議案】

- ①平成25年度事業・決算・監査報告
- ②平成26年度事業計画・予算（案）
- ③役員一部改選
- ④その他

\*欠席の方は、委任状をご提出願います。

# 元気でふれあうまち網島

2014年(平成26年)4月~2014年(平成26年)9月

## イベントカレンダー

開催日		イベント	会場	主催	
26年	4月	6日(日)	菜の花まつり	鶴見川河川敷	網島地区連合自治会
	8月	2日(土) ~3日(日)	第47回網島少年すもう大会	網島小学校 (相撲場)	網島地区連合自治会 網島少年すもう大会実行委員会
		9日(土) ~10日(日)	第6回「みんなで元気」 網島盆踊り大会	網島小学校校庭	網島地区連合自治会 網島盆踊り大会実行委員会
		16日(土)	わんぱくおばけ大会	網島地区センター 及び網島公園周辺	わんぱくおばけ大会実行委員会
		30日(土) ~31日(日)	諏訪神社例大祭	諏訪神社 及び網島地区各所	各自治会町内会「神輿会」
	9月	15日 (祝月)	網島地区敬老祝賀会	網島地区センター (体育館)	網島地区連合自治会 網島地区社会福祉協議会
		20日(土)	網島小学校地域防災拠点訓練	網島小学校	網島小学校地域防災拠点 運営委員会



菜の花まつり



少年すもう大会



網島盆踊り大会



諏訪神社例大祭



わんぱく  
おばけ大会

網島桜まつり

防災訓練

【網島の行事】

### 編集後記

いわゆる「地域福祉」とは、この「ひつとプラン」の取組みそのもの。つまり地域で福祉の問題について、地域の皆さんや福祉関係者(行政、民間団体)とが協力して取り組んでいくことです。編集者がこの言葉を意識したのは今から二十年前だったろうか。そして、それよりさらに二十五年前(1979年頃)には、地域コミュニティ崩壊をなんとかしようとして、全国で様々な取り組みが始まりました。

この取り組みの基本的な狙いは、住民同士の支え合えで、地域住民がともに暮らしやすくしようという、住民に意識改革をもとめるものでした。今で言う「安全・安心で住みやすいまちづくり」を地域で取り組んでもらおうというものですが、その時にも「地域福祉」という言葉が出ていたと記憶しています。人間の意識を改革するなんて出来るのかと思いましたが、それでももう五十年は過ぎていくということですね。当時百年かかる取り組みだとは聞きましたが、まだ道半ば。どうなるんだろう・・・。

